


ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	<p>保育科 特任教授</p> <p>松野 洋人 (まつの ひろと)</p> <p>Matsuno Hiroto</p>
所属	保育科
学位	教育学士 (山梨大学)
資格・免許	中学校教諭一種免許状 (国語) 高等学校教諭一種免許状 (国語)
学歴・職歴	<p><学歴></p> <p>1968年 3月 山梨大学教育学部国文学科卒業 (教育学士)</p> <p><職歴></p> <p>1968年 4月 学校組合立笛南中学校教諭 (1970年 3月まで)</p> <p>1970年 4月 道志村立道志中学校教諭 (1972年 3月まで)</p> <p>1972年 4月 学校組合立河口湖南中学校教諭 (1975年 3月まで)</p> <p>1975年 4月 学校組合立御勅使中学校教諭 (1977年 3月まで)</p> <p>1977年 4月 山梨大学教育学部附属中学校文部教官教諭 (1984年 3月まで)</p> <p>1980年 4月 山梨大学教育学部兼任講師 (1984年 3月まで)</p> <p>1984年 4月 甲西町立甲西中学校教諭 (1989年 3月まで)</p> <p>1989年 4月 山梨県教育庁学校教育課指導主事 (1994年 3月まで)</p> <p>1992年 4月 山梨大学教育学部兼任講師 (1994年 3月まで)</p> <p>1994年 4月 甲西町立甲西中学校教頭 (1996年 3月まで)</p> <p>1996年 4月 甲西町立南湖小学校教頭 (1997年 3月まで)</p> <p>1997年 4月 南部町立南部中学校校長 (2000年 3月まで)</p> <p>2000年 4月 竜王町立竜王南小学校校長 (2003年 3月まで)</p> <p>2003年 4月 南アルプス市立甲西中学校校長 (2006年 3月まで)</p> <p>2006年 4月 北杜市立甲陵高等学校・中学校非常勤講師 (2009年 4月まで)</p> <p>2006年 4月 山梨英和中学校・高等学校教員研修講師 (2007年 3月まで)</p> <p>2007年 10月 山梨学院短期大学保育科兼任講師 (2009年 3月まで)</p> <p>2009年 4月 山梨学院短期大学保育科特任教授 (現在に至る)</p> <p>2018年 4月 山梨学院短期大学学長補佐 (2020年 3月まで)</p>
担当科目	文学 児童文化・文学論 国語 教職実践演習 国語科概論 国語科教育研究 児童文化論
専門分野	国語学 国語科教育学
現在の研究テーマ	国語科韻文教材選定の視点
競争的資金等の研究課題	なし
所属学会	全国大学国語教育学会、日本国語教育学会
メッセージ	青年期に大切なこと、それは、「命とは／死とは／幸福とは／平和とは／愛とは／友情とは／孤独とは／絶望とは／善とは／悪とは／私とは」などといった簡単に答えを得られない命題について突き詰めて考えること。大いに悩み、考え、そして書を繙き、先人の声にも耳を傾けてみてください。

教育	
2021年4月～2022年3月	
教育方針	正しく美しい日本語を継承できる教育者を育成したい。
授業	<p>授業の工夫</p> <p><文学> 「愛・死・無常観」を切り口に「万葉」「古今」「新古今」等から教材を選び、「教材集」を作成し授業で活用している。 授業内容も単なる作品解釈にならないよう、作品成立の背景を歴史や作者の状況等から解明しつつ学ぶように工夫している。</p> <p><国語> 授業の前半では、「音韻、文字（かな・漢字・ローマ字等）、語句・語彙（和語・漢語・外来語等）、文法（敬語法を含む）」等、日本語の基礎的知識について学び、後半では、日本語の現状における問題点を具体的な事例を取り上げながら学び、さらに、その学んだ知識を判断基準とし、学生一人一人が身の回りから「誤った日本語表現」を探すというフィールドワークを実施し、レポートにまとめるという学習に発展させている。</p> <p><国語科教育研究> 専攻科1年次の「国語科概論」で学んだ、国語科の目標・内容や方法（指導過程、指導技術、評価法、個の処遇法）等の知識を生かして、教材選定、教材分析、学習指導計画の作成等を学生一人一人が主体的に行い、模擬授業の実践につなげている。</p>
	<p>授業改善のための取組</p> <p>「講義」系の授業においても、「聞く」だけの授業にならないよう、可能な限り演習的手法を取り入れ、学生一人一人が「調べ」「発表する」機会を多く設定するようにしている。 また、授業内容に関係した場所への文学散歩や県立図書館等教育文化施設での調査活動などを、時間的に可能な科目においては実施している。</p>
ゼミ	<p>ゼミ活動 （卒業演習） （修了研究）</p> <p>該当する授業科目を担当していない。</p>
	<p>卒業レポート・ 修了研究テーマ</p> <p>該当する項目を担当していない。</p>
課外活動	該当なし
2021年3月以前	
主な教育業績	記載省略

研究		
2021年4月～2022年3月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
記載省略		
2021年3月以前（主なもの）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（著 書） 『新国語科「言語活動例」の授業モデル』 （共著）	2001年1月	明治図書
（著 書） 『中学校文学的な文章の指導法』 （共著）	2000年8月	明治図書
（著 書） 『キーワードでわかる新国語科』 （共著）	2000年4月	国土社
（著 書） 『国語科・学びの力を高める総合的な学習 の構想と展開』 （共著）	1999年4月	国土社
（学術論文） 「読書、読書指導を想う」 （単著）	2015年1月	『月刊国語教育研究』513号 （日本国語教育学会）
（学術論文） 「自力で作品と向き合う授業を」 （単著）	2012年11月	『実践国語研究』315号 （明治図書）
（学術論文） 「不易の課題・流行の課題」 （単著）	2011年2月	『月刊国語教育』371号 （東京法令出版）
社会貢献		
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等		
2021年4月～2022年3月		
<ul style="list-style-type: none"> ・光村図書・中学校国語教科書編集委員（2009年～現在に至る） ・総務省行政相談委員（2011年～現在に至る） ・南アルプス市職員採用試験協力者（2009年～現在に至る） ・国語教育実践改革会議（2005年～2007年＝代表、2008年～現在＝副代表） ・山梨国語教育実践研究会（1977年～2004年＝代表、2005年～現在＝顧問） 		

社会貢献（つづき）

産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等

2021年3月以前（主なもの）

- ・東京都東久留米市中学校国語教育研究会講師（2020年10月）
- ・東京都足立区教育研究会中学校国語部会講師（2019年10月）
- ・東京都府中市中学校教育研究会国語部会講師（2019年9月）
- ・東京都北区教育研究会小・中国語研究部会講師（2018年11月）
- ・東京都中野区中学校教育研究会国語部会講師（2017年2月）
- ・山梨県峡北教育研究協議会国語部会講師（2017年2月）
- ・東京都板橋区中学校教育研究会国語部会講師（2016年11月）
- ・東京都中野区中学校教育研究会国語部会講師（2016年6月）
- ・東京都八王子市中学校研究協議会国語部会講師（2015年11月）
- ・東京都台東区教育研究会国語部会講師（2015年10月）
- ・東京都中学校国語教育研究会研修会講師（2015年5月）
- ・山梨県総合教育センタ国語科研修会講師（2014年8月）
- ・国語教育実践改革会議研究大会パネラー（2014年8月）
- ・東京都青梅市中学校国語教育研究会研修会講師（2014年2月）
- ・新しい国語実践の研究会札幌大会シンポジスト（2013年12月）
- ・東京都板橋区中学校教育研究会国語部会講師（2013年11月）
- ・東京都東村山市中学校国語教育研究会研修会講師（2013年10月）
- ・東京都杉並区教育研究会中学校国語部会講師（2013年8月）
- ・山梨県総合教育センタ国語科研修会講師（2013年8月）
- ・国語教育実践改革会議研究大会パネラー（2013年8月）
- ・新しい国語実践の研究会千葉大会パネラー（2012年12月）
- ・東京都大田区小・中学校国語研究会研修会講師（2012年10月）
- ・山梨学院短期大学免許法認定講習講師（2009年、2012年）
- ・山梨県総合教育センタ国語科研修会講師（2012年8月）
- ・国語教育実践改革会議研究大会パネラー（2012年8月）
- ・横浜市中学校教育研究会国語部会講師（2012年6月）
- ・文部省・中学校学習指導要領（国語）調査研究協力者（1898年～1899年）

受賞 ※個人、所属団体

- ・博報賞受賞（1994年）
- ・文部大臣奨励賞受賞（1994年）